

イクジィ 育G 応援プロジェクト その22

地域で広げよう!孫育ての和

核家族化や女性の社会進出、地域社会の希薄化などにより、孤立してしまう「子育て」。
そうした中、今、期待されているのがじいじ・ばあばが持つ「祖父母力」です。
このコーナーでは「孫育て」という視点から、皆さんに役立つ情報をお届けします。

※「育G」とは、育児に積極的な「Grandfather」「Grandmother」の略称です

育Gへ孫育て アドバイス

孫とかかわるコツ 認め、頑張ったらできたという経験を!

「褒める」と「認める」。子どもたちの成長に大切なのはどちらでしょうか。正解は「認める」です。

「褒める」は、他人が決めた基準をクリアしたなど、結果に対しての評価。「認める」は、結果がどうであれ、その人が行った課程を認めることです。

例えば、子どもが絵を描いたときに「上手に書けたね」は褒める。「丁寧に色が塗れているね」「この前よりも、よく見て描けたね」と、本人の頑張りが成長したことを、具体的

に伝えるのが認めるです。忙しい親たちは褒めるになりがち。ゆっくり孫と関われる祖父母たちこそ、認めることを心掛けましょう。

ポイントは、お孫さんに「ちょっと頑張ったら、できる!」をたくさん体験させてあげること。認める機会が増え、やればできる心が育まれます。

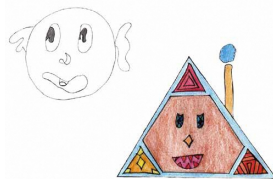


イラスト:Hina

アドバイザー

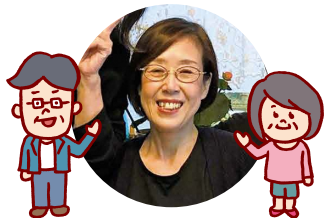
ぼうだ あきこ

NPO法人孫育て・ニッポン理事長

自身の出産後、子どもや家庭の状況にあわせて、育児雑誌や新聞等への執筆、育児サイトの立ち上げ・運営、企画会社などで活躍。2011年NPO法人孫育て・ニッポンを設立。全国各地で「孫育て講座」や行政との共同プロジェクトを行う。また、産後ケア、多世代交流を中心としたまちづくりなどの調査、研究に携わる。孫一人。

地元の育G リレーコラム

二人だけの時間や思い出を大切にしたい



今月の育G

寺尾 美矢子さん (63歳)

職業:会社員

住所:市内駿河台1丁目

孫 :女の子(10歳)

産まれてすぐに呼吸がうまくできず入院しましたが、何事もなく済んでホッとしたことを覚えています。孫ができてからは「生き方のお手本になるよう、孫に恥じないように自分自身もしっかりしなければ」と考えるようになりました。ただ、実際には嫌われたくないこともあり、「超甘々」であり叱ることもありません。誕生日やクリスマスはもちろん、普段からお菓子やおモチャをついつい買い与えてしまいます。娘にも教育やしつけの話はあまりしません。孫との二人だけの時間や思い出を大切にしたいと考えているので、自転車乗りの練習でオデコをアザだらけにしたことは二人だけの秘密です…。

自慢の孫フォト



若葉ちゃん

藤枝市からの子育て情報

保育や教育の現場で働きませんか

保育や幼児教育の現場を支える保育士・幼稚園教諭のほか、放課後児童クラブの指導員を募集しています。本市が運営する人材バンク「enjobふじえだ」には、各施設の求人情報を掲載。ぜひ、人材バンクにご登録ください。

※採用の手続きなど、詳しくは、「enjobふじえだ」ホームページをご覧ください。



enjobふじえだ
webページ



感想募集中



こちらのQRコードへ
アクセスしご覧いただいた
感想をお寄せください♪